

福津の今昔

～変わる風景 変わらない風景～

久しぶりに訪れてみると懐かしさを感じるふるさとの風景。以前、田畑だった場所や鉄道が通った道は住宅が建ち並び、街並みや景観は大きく変わってきました。今、当たり前^{など}にそこにある風景の写真を見ながら、その歴史を少し辿ってみましょう。



▲市役所津屋崎庁舎に隣接していた市文化会館カメラリアホールに図書館と歴史資料館が加わり、2017年7月に市複合文化センターカメラステージとしてリニューアルオープンしました



▲日本風の切妻屋根が特徴の庁舎は、1987年秋に建設。津屋崎町と福岡市が合併した後、2016年6月まで市役所津屋崎庁舎として市民の皆さんが利用していました



▲現在のまちおかしセンター津屋崎千軒なごみイベント広場と、しおさい通りの場所にあった1935年建設の庁舎。屋上に遠くを見渡すためのやぐらがある木造二階建ての庁舎でした



▲現在のお魚センターうみがめの対岸、旧福岡県水産試験場跡地にあった庁舎。渡半島では不便ということで、1929年の建設からわずか6年で移設することになりました

市町村合併などで、拠点を転々と移動してきた津屋崎町役場。津屋崎、渡の2村が合併して津屋崎村が発足した1889年以降、およそ100年間で少なくとも4回移転しています。あるときは交通の便などを考えて町の中心に、またあるときは渡半島と津屋崎をつなぐ津屋崎橋の無料化のためにと、それぞれの時代に合わせた移転が行われてきました。